

# 一大学と学生の特徴を活かした支援へー

## 日本社会事業大学 障がい学生支援組織CSSO

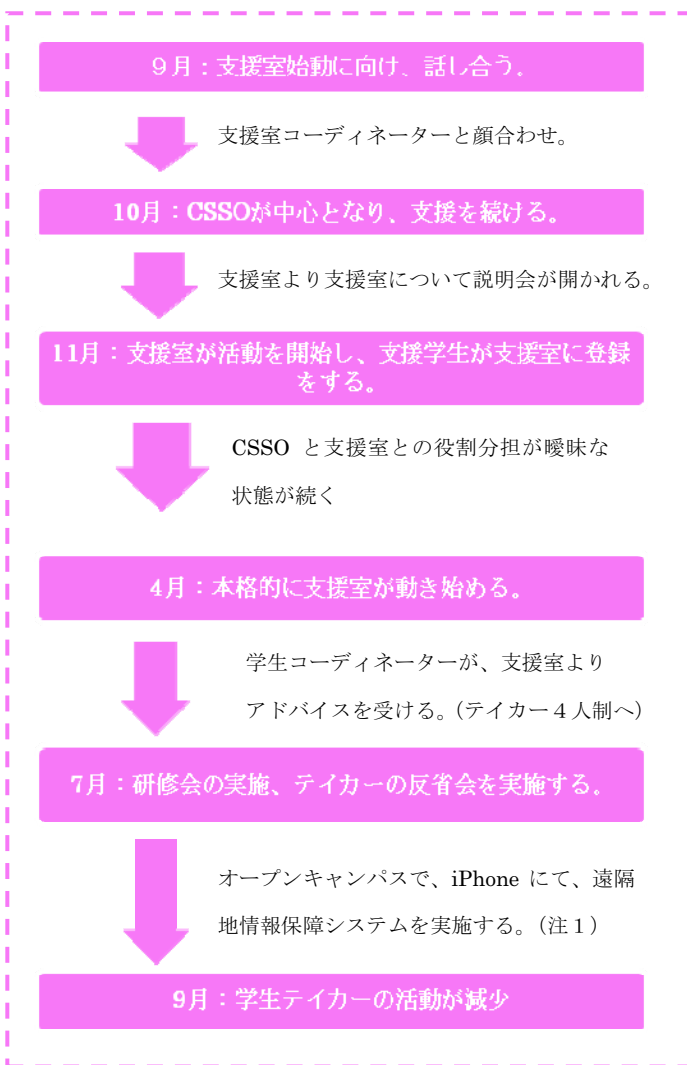
<はじめに>

2005年6月に障がい学生支援組織CSSOの活動が開始した。4年後、日本財団の助成により、聴覚障がい学生支援プロジェクト室が設立。しかし、共同で支援を行っていくうえで検討していかなければならない課題が多く残っているのが、現状である。本発表ではこれらの課題も含め、本学における情報保障支援について、活動を報告していきたいと思う。

<所属人数>

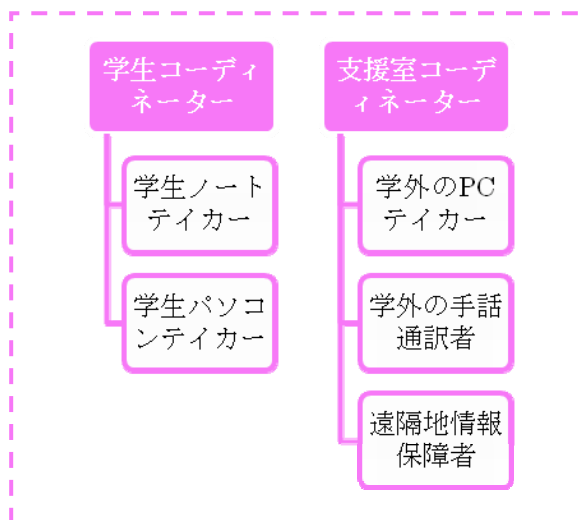
大学全体の学生数：約900人      運営スタッフ：約45人  
聴覚障がい学生：1名              支援サポーター：25人

### 設立までの流れ



注1：国立大学法人筑波技術大学を代表とした、『携帯電話を使用した「モバイル型遠隔情報保障システム」導入実験プロジェクト』のモニター校として、実施しました。

### 役割分担について



### 今後の課題

- ・支援室との情報共有
- ・利用学生との継続的な関わり
- ・学生ノートテイカーのスキル維持、向上、継承
- ・利用学生卒業後の活動
- ・障がい学生支援の啓発活動の実施

所在地：〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3丁目1番地30号

連絡先：日本社会事業大学 障がい学生支援組織CSSO (jcsww@csso.plamail.jp)

設立年：2005年6月